

「小河内」便り 第29号 平成26年5月

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト（理事長 渡辺眞作）



連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3
安佐小河内集会所内

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

長い冬眠から覚めたように野山が新緑に一変、百花繚乱の春、鳥や虫も活発に動き回り、まるで地球が一つの生命体のようです。野では耕運機や草刈り機の音で賑やかになり、人影が見え過疎の地が急に元気になったようです。

お元気ですか。2月ぶりのお便りをお送りします。



庭に咲く優雅なボタン（下三根 岡田宅）



（小峠 迫田宅）

平成26年度、小河内地区主要行事計画

月日	行事	場所	備考
4月20日(日)	各種団体総会	小河内集会所	
5月18日(日)	小河内Oプロジェクト理事会	小河内集会所	
5月25日(日)	白島商店会田植え	白島水田	
6月1日(日)	ハウス田植え	ハウス水田	
6月8日(日)	小河内どろ落とし祭	小河内小学校	
6月14日(土)	生き物調査	小河内地区内	
6月22日(日)	小河内Oプロジェクト総会	小河内集会所	
7月20日(日)	白島商店会草取り	白島水田	
7月20日(日)	小河内一斉清掃、クリーン太田川	各自治会	
7月27日(日)	ハウス草取り	ハウス水田	
8月31日(日)	小河内小学校清掃	小河内小学校	
9月14日(日)	小河内地区敬老会	小河内小学校	
9月21日(日)	ハウス稲刈り	ハウス水田	
9月23日(火)	白島商店会稲刈り	白島水田	
9月28日(日)	小河内スポーツフェスタ	小河内小学校	
11月8日又は(9日)	牛頭山登山	牛頭山	
10月 日()	柿もぎ体験	小河内地区内	日程未定
11月2日(日)	小河内養山八幡神社秋季大祭	養山八幡神社	
11月7日(金)	小河内小学校収穫祭	小河内小学校	
11月8日(土)	小河内小学校学芸会	小河内小学校	
11月16日(日)	ハウス収穫祭	小河内集会所	
11月30日(日)	安佐北元気フェスタ(区行事)	安佐北区民センター	
12月6日又は(13)	竹林整備と門松づくり	小河内集会所	
12月17日(日)	小河内小学校しめ縄づくり	小河内小学校	
12月 日()	小河内集会所清掃	小河内集会所	日程未定
1月11日(日)	とんど	小河内地区内	
2月 日()	炭焼き体験	桜山窯(一面窯)	日程未定
3月 日()	小河内小学校閉校式	小河内小学校	日程未定

(ゴシックはOプロ行事)

総会のご案内

第4期（平成26年度）総会を6月22日（日）13:30より小河内集会所で開催します。案内状は追ってお送りします。賛助会員の方もオブザーバーとして出席できます。是非多くの会員の皆様にご出席下さるようお願いいたします。

白島、ハウスのさつま芋植え畝立て

今年も農業体験のシーズンになりました。

5月25日（日）白島商店会様、6月1日（日）ハウス「食と農と環境体験教室」様の田植とさつま芋植え行われます。それに先だち水田では、草刈や水路清掃、耕起、代掻きなど、畑ではさつま芋の畝立て、マルチ張などの事前準備をしました。



畝立て作業（5月16日）、その向こうはトウモロコシ畑（遠方な滝山）



さつま芋のマルチ張（5月16日）

小河内情報

西部集落と楓原集落にビニールハウス団地完成

今春、ひろしま活力農業経営者育成事業の1年間の基礎研修を終えた若者3人（沖政さん、神田さん、西佐古さん）が当地の西部集落と楓原集落約30aのビニールハウスに葉物（コマツナ、ホウレンソウ）栽培を始めました。

若者が小河内に入り、活気が出て来ました。小河内の農村風景も変わりましたね。



西部集落のハウス団地



楓原集落のハウス団地

大仏溝のカザグルマ（広島県準絶滅危惧種）



大仏溝水路付近に自生していたカザグルマを水路改修に伴い、大仏溝自治会が保護し、県道沿いに移植しました。遠方は万福寺（写真右）。カザグルマは広島県の準絶滅危惧の指定を受けている貴重な花です。

バーベキューシーズン、弥太郎君のデザイン、袋を一新

着火剤「弥太郎君」の袋のデザインを一新、中身も増量しました。新しい袋は紙質をやや硬くし、形状が崩れないように、又持ち運びやすいように手提げ紐をつけました。中身も従来の約600gから800gに増量、約1時間30分火持ちがします。販売価格は500円（税別）です。

従来の袋400円（税別）は引き続きホームセンターナフコさんで販売中です。バーベキューシーズンになりました。是非お使い下さい。

集会所に下記写真のような棚を設置、弥太郎君を始め、炭製品を展示しています。



弥太郎君



木酢液と竹を利用した消臭製品

木炭の利用例（床下の除湿、消臭、防虫）

小河内のY邸で木炭を床下に敷き詰め、除湿や防虫等の効果を実験中です。これから、梅雨次期に入り、また夏場になり効果が期待されます。効果や課題等については、追って発表します。

（ここに現像した写真を入れます）

J A広島市広報誌「こいぶみ」に「Oフ口」紹介

J A広島市の広報誌「こいぶみ」7月号に当法人の活動紹介（弥太郎君等）がされる予定です。

6月14日、小河内の生き物調査をします

今、農林業の衰退で、耕作放棄地の増大や山林放置等から多くのいのちを育ててきた里山が危機に瀕しています。ライフスタイルの変化や便利な石油系商品の過度の依存で、地球温暖化が進行、生き物の生息環境に影響を与えています。

いのちの繋がりの中で生き物は、私たち人間に直接的、間接的に恩恵をもたらしています。自然豊かな小河内には、多様な生き物が生息しています。しかし、今かつて乱舞して蛍が珍しい時代になりました。鬼トンボはどこに行ったのでしょうか。燕も少なくなりました。今生息している生き物を知ることは、今の環境を知る指標になります。6月14日（土）、10時15分（10時小河内集会所集合）より専門家と一緒に小河内の水田に生息している生き物調査をします。小河内に今どんな生き物がいるかを知ることは、今の小河内の環境を知ることになります。生き物は環境に敏感です。私たち人間に深く関わっていることを学びましょう。是非ご参加下さい。

小学校統合問題と跡地、施設利活用について

小河内小学校が今年度をもって閉校、来年度から飯室小学校に統合されることになりました。来年4月から4人の児童が飯室小学校に通う予定です。明治7年に開校、古い歴史ある学校が140年の歴史に幕を閉じることになります。

明治、大正、昭和、そして平成と、何代もの若ものが学び、友情と絆を深めた思い出多い学校は精神的にも外観的にも小河内のシンボルです。平成21年度の保育園の廃園に続く衝撃です。全国的な少子化の時代潮流とは言え、淋しさと小河内の将来に不安を禁じえません。しかし、現実には現実として冷静に受け止めなければなりません。廃校をマイナス面から見るのではなく、気持ちを切り替え、未来志向で新しい小河内を建設する良い機会と見る必要があります。

子供にとっても時代の即応した教育環境の中で勉強することは必要でしょう。

昨年末、跡地、施設問題について住民アンケートを実施、この跡地、施設を小河内の活性化に生かすという意向に基づき、今小河内側と学校の所有者、管理者である広島市教育委員会と活用策について話し合っています。秋口頃には概略の青写真ができる予定です。プランが纏まり次第住民の皆様にご説明させていただく予定です。

「新しい酒には新しい革袋」を期待しています。

編 集 後 記

当法人も4年目、幼稚園生になりました。まだまだです。変わることは世の常、変わることをチャンスと捉え、知恵と汗を出して、新しい小河内を創っていきましょう。ご指導下さい。これから梅雨、そして暑い夏へ、健康に気をつけましょう。（S）